

利根・沼田の教育

発行所 利根教育事務所
発行人 宇敷 重信
〒 378-0031 沼田市薄根町 4412 番地
TEL 0278-23-0165 FAX 0278-23-0180
E-mail : tonekyou@pref.gunma.jp

学校教育グループ

— 今後の授業改善に向けて —

要請訪問(B)におきましては大変お世話になりました。授業や授業研究会を通して、各学校の校内研修の深まりや授業改善に向けての熱意を感じました。授業研究会においては、各学校の研修内容や授業改善について「利根・沼田の教育第8号」で示した6項目(□印)の内容を基に話をさせていただきました。

今後の授業改善を進める上で最も大切にしていきたいことを以下に示します。

学習指導要領解説や国立教育政策研究所の資料、教科書等を照らし合わせ、「ねらい」を吟味し直すこと

学習指導要領に示されている内容の確実な定着を図り、目標を実現するために、1単位時間の「ねらい」を明確にする必要があります。そのためには、<①学習指導要領の目標や内容に照らし合わせて妥当であるか ②児童生徒が具体的に何をどのようにできればよいのか>の二点から吟味することが大切です。特に、②の吟味が重要です。小学校5年算数の「平面図形の面積」を例に示します。

<最初に設定したねらい> 平行四辺形の面積の求め方を考えることができる。

吟味が不十分な場合

多様な方法で考えさせたい。(手段と目的を混同している。)



<最終的に設定したねらい>

平行四辺形の面積の求め方を、いろいろな方法で考えることができる。



十分吟味された場合

既習の長方形の面積の求め方を基に考えさせ、論理的な考えなど数学的な考え方を育成したい。

↓ 小学校学習指導要領編算数編参照

<最終的に設定したねらい>

平行四辺形の面積の求め方を、既習の長方形の面積の求め方に帰着して考えることができる。

↓ 国立教育政策研究所の資料参照



<学習活動>

【自力解決の場】色々な方法が出るよう、自力解決の時間を十分にとる。ヒントカードを用意したり、実際に平行四辺形を切れるように準備したりする。

※ねらいが曖昧なため、①②③の方法が出なかったり、④⑤の方法が出たりする。

- ①
- ②
- ③
- ④ マス目を数える
- ⑤ 細かく切って長方形を作る

【集団思考の場】各方法についての妥当性を確認したあと、それぞれのよさに気付かせていく。(子どもに見通しをもたせていないため、④⑤の妥当性の判断が難しい。また、意見の交流が充実しないので、身に付けるべき力が付きにくい。)

<学習活動>

【自力解決の場】既習事項の活用に目が向くよう、見通しをもたせた上で自力解決をさせる。方法や考えの根拠をワークシートに記述させる。

※ねらいの達成に向けて意図的な支援ができるため、ねらいに沿った方法が出てくる。

- ①
- ②
- ③



【集団思考の場】各方法についての説明や考えの根拠を述べさせ、妥当性を確認する。そのあと「共通点と相違点」という視点から意見を交流させ、既習事項を活用して問題解決をするよさに気付かせていく。(次時の公式化へ繋げることが可能となる。)

生涯学習グループ

家庭の教育力の向上に向けて ～おとうさんの子育てウィーク『親子体験教室』～

「お金をかけなくても、楽しく快適にキャンプができます。ぜひ親子でアウトドアへ…」



講師の高柳盛芳さん（群馬の達人：群馬県観光局認定）は、参加した親子に熱く語りかけました。会場の旧昭和村第一保育園跡地では、笑顔いっぱいの親子が、青空の下、焚き火でパンを焼いたり、ロープワークを駆使してテントを作ったりして、アウトドアでの活動を満喫しました。

『親子体験教室』は、親子が触れ合うことや父親の積極的な子育てへの参加の大切さについて再認識することを重視しています。親子で五感を働かせながら全身を使って一緒に遊んだり、ともに考えながらものを作ったりする活動により、子どもの「生活の中で工夫したり創造したりする力」を伸ばすことができます。

また、参加した親子は、わからないことや困ったことなどを、他の親子と教え合い、助け合いながら活動することにより、人の心の温かさを実感することもできます。

今回は、講師の他、利根沼田地域で体験活動等を推進している方々にも参加していただき、グループごとの活動のサポートをしていただきました。利根沼田地域全体に子育て支援のネットワークが広がるきっかけになればと考えています。

ロープワークに挑戦！



ビニールシート1枚でも、工夫次第でこんなに素敵なテントの完成です。



講師の他、父親クラブ等で活動している指導員のサポートで、多くの親子が、楽しく交流しながら体験できました。

焚き火にチャレンジ！



焚き火の薪は、平行に並べると、火持ちがよく、火力も抜群です。木の枝で、パンを焼きました。

◇ 参加者の声

○ 参加した子どもの声

「すぐにでも、アウトドアで料理をしてみたい。」

「おとうさんとキャンプをしたい。」

「ロープワークは、いろいろと役立つことがわかった。」

「焚き火でパンが焼けて驚いた。」

○ 参加した親の声

「体験したことを応用して、また子どもとやってみたい。」

「普段、子どもと接することが少ないので大変よい体験だった。」

「子どもが、肌で感じて学べたところがよかった。」

「工夫次第で、親子で楽しく体験できることがわかった。」

「身近なものでテントなどができるので、災害時にも役立てられると思った。」

◇ 今後に向けて

利根教育事務所では、『親子体験教室』の参加者や関わったあらゆる方々が、新たなつながりを持ち、活動を広げるなど、地域全体で子どもを見守り、育てる機運が高まることを期待しています。また、今後も、家庭の教育力の向上に向けて、子育てに関する学習機会や子育て支援の情報提供の充実を図っていききたいと考えています。